

令和2年度第1回地域包括ケアネットワーク研修会

住み慣れた場所で 最期まで過ごすために

ホームケアクリニックえん
緩和ケア認定看護師 高橋美保

1

訪問看護利用者の 救急搬送と検案

(介護保険前)

- 訪問診療や往診医が少ない
- 必要時の通院と訪問看護、介護で療養

↓

- 看取りのための救急搬送
- 状態が徐々に低下する中でも予期せず亡くなった場合→警察や医師による検案
ご家族・関係者の事情聴取

2

人がいかに死ぬかということは、残される家族の記憶の中にとどまり続ける。私たちは最後の苦痛の性質とその対処について十分に知る必要がある。最後の数時間に起こったことが、残される家族に心の癒しにも、悲嘆の回復の妨げにもなるのだから。

Dame Cicely Saunders

3

どうしたら 人は最期まで 穏やかに過ごせるのか？

4

機能強化型在宅療養支援診療所

5

人が最期を迎える場

6

訪問診療開始時より繰り返す意向確認

ご本人・ご家族それぞれに

- 病気をどうとらえているか？
- 状態が悪くなった時、どうしてほしいか？
- 今後の過ごしたい場所

<伝えること>
これから何度も聴いていきます
いつでも変更可能です

7

いざとなったら病院

そんなの考えられない

できれば家がいいなあ

📞 お互いが話すきっかけ

👤 今後のこころづもり

👤 ご本人と家族の思いをすり合わせていく

8

いきなり死を迎えるのではない
徐々に機能が低下して、生活支援や看護、介護、医療が包括的に行われる延長線上に看取りがある

死を逃れることはできない

苦しくない死を目指すことはできる

9

緩和ケアの定義

「苦しみを予防し、和らげることで、患者とその家族の生活の質を改善するアプローチである」
WHO(世界保健機関)

苦しみが和らぐことを最優先の課題とした場合、
食べることや飲むことが苦しみの原因となっていれば、
それらを調整する必要がある。

10

「患者は死につつあるから食べないのであって、
食べるのをやめたから死ぬのではないことが
わかれば、家族や介護者の不安は軽減する」

福井次矢、黒川清監訳：ハリソン内科学、第4版、メディカルサイエンスインターナショナル、2013

11

👤 急な意識レベルの低下、呼吸が苦しそう

🚑 亡くなってしまったらどうしよう

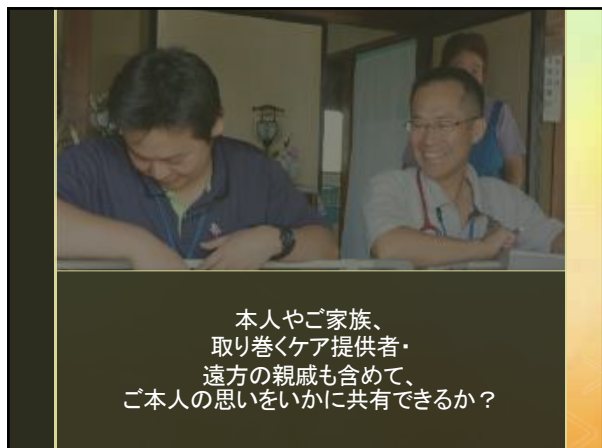
👤👤 ご家族の不安、遠方の親戚の意向

👤👤 ケアをしている介護者の不安

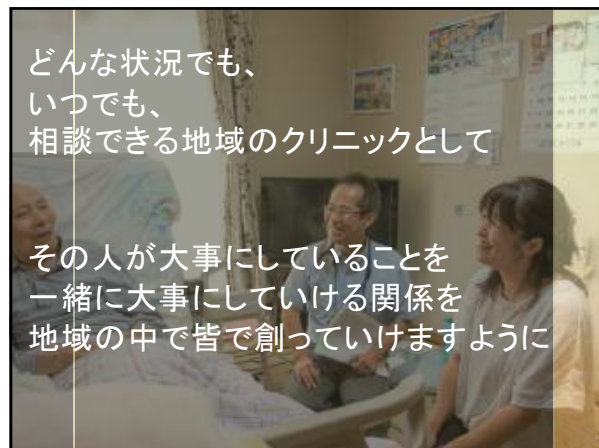
本人が望んでいない救急搬送

救急搬送依頼：救命してほしいという意志表示

12



13



14